



# 製造業現場と対話する 東京エレクトロンデバイスのDXソリューション

東京エレクトロン デバイス株式会社  
EC BU クラウドIoTカンパニー  
IIoTソリューション部  
高橋 仁美

- ・ 東京エレクトロンデバイス会社紹介
- ・ 製造業様でのDX推進課題
- ・ 製造業向けデータ活用ソリューション
- ・ まとめ

# 会社概要



2025年7月1日時点

会社名	東京エレクトロン デバイス株式会社
設立年月日	1986年3月3日
代表者	代表取締役社長 徳重 敦之
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場（証券コード：2760）
資本金	24億9千5百万円
売上高	216,379 百万円（2025年3月期）
従業員数	連結：1,383名（2025年3月31日現在）
本社所在地	東京都渋谷区桜丘町1番1号 渋谷サクラステージSHIBUYAタワー
主な事業内容	<p><b>1.半導体及び電子デバイス（EC）事業</b> 半導体、ボード、ソフトウェア、電子部品の販売、設計・開発</p> <p><b>2.コンピュータシステム関連（CN）事業</b> ネットワーク、ストレージ、ソフトウェアの販売、保守サービス</p>
子会社	株式会社ファースト 東京エレクトロンデバイス 長崎 東京エレクトロンデバイス APAC 東京エレクトロンデバイス 上海 東京エレクトロンデバイス シンガポール 東京エレクトロンデバイス タイ 東京エレクトロンデバイス アメリカ
関連会社	Fidus Systems Inc.

## 東京エレクトロンの 電子部品事業・コンピュータネットワーク事業が分離・独立

半導体製造装置メーカー  
**東京エレクトロン**

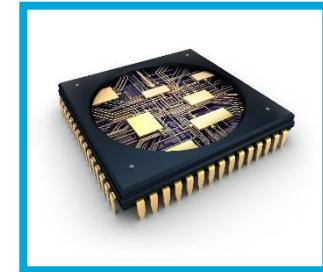
<2025年3月 出資比率33.82%>



1998年  
譲受け

2006年  
事業承継

半導体及び電子デバイス  
(EC) 事業



コンピュータシステム関連  
(CN) 事業



東京エレクトロン デバイス

## 「商社機能」と「メーカー機能」を融合し 技術・製品・情報・サービスを提案・提供しています



半導体製品

ボード製品・  
一般電子部品

製品販売

システム  
構築

保守  
サポート

プライベート  
ブランド製品

設計・量産  
受託サービス

商 社 機 能

メー カー 機 能

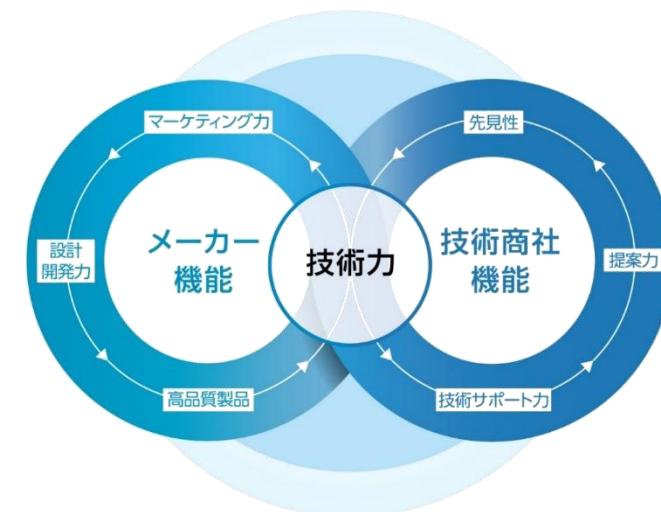
## MISSION

半導体やITを中心とする最先端テクノロジーを通して  
社会課題に向き合い  
期待を超える価値を持つ解決策を提供することで  
社会の持続的発展に貢献する



## VISION

メーカーと技術商社の力で  
潜在的な社会課題を解決する会社

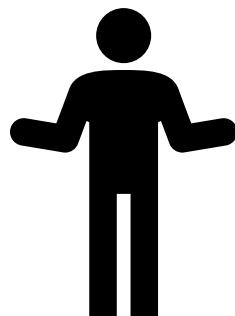


# 製造業でのDX推進スケール例



2015年～の IoT から、2020年以降のコロナ禍を経て、  
データの蓄積やIT環境の整備は進んだ

**製造業におけるDX推進は  
単純に製造効率が向上する機械やシステムを  
導入すればよい訳でない。。**



## データ活用の課題

- 各装置やライン・システムごとでデータが点在しており統合的なデータ管理が出来ていない
- システムごとの属人的な管理となり、自動化が進まない
- 局所的なDXの投入となり、工場内の最適なデータ活用に至らない

## 新規設備導入への課題

- 工場内では古い機器と最新設備が一緒に稼働しており、セキュリティ未対策機器が多く稼働
- 機器全体をNW接続・統合管理することが困難

## 各種法・規制対応への課題

- 製品開発部隊から、SEMI E187/E188、CRA（欧州サイバーレジリエンス法）、IEC62443への対応に向けた製造・品質保証の相談に入るが、稼働第一優先としてきたため、現場機器の状況が把握できていない



工場内全体へのDX推進が困難な状況…

# 製造業向けデータ活用ソリューション

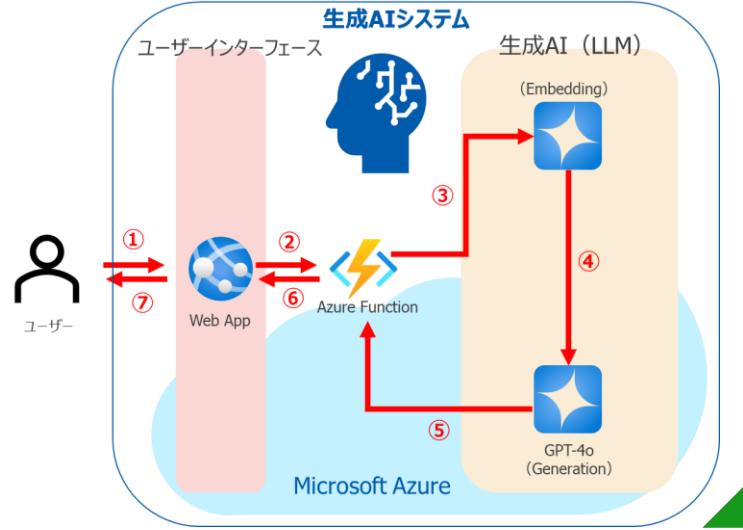


# 生産性向上ソリューション：生成AI活用ステップ°



## 当社活用ポイント：将来像を見据えた導入ステップ°をご提案

ステップが進むほど導入効果は大きいが、それに伴い必要な準備も考慮する必要があります。



### 1. 一般的な生成AI利用

- ・個人の知識作業の生産性向上

### 2. 自社データを活用した生成AIシステム

初期段階：社内業務の生産性向上

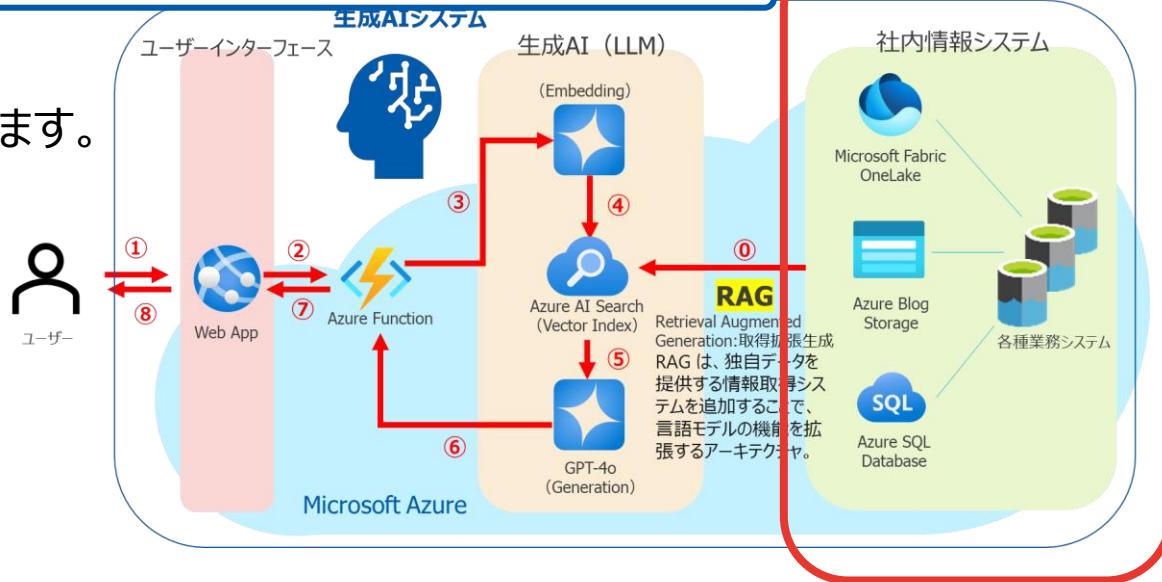
- ・社内情報探査・ナレッジ共有

#### 情報資産のクラウド化

1. 検証環境準備

2. 既存インフラで対応可能

3. DX推進のための環境整備



データ活用に、  
社内情報システム  
のクラウド化  
が必要

回答精度向上  
のために  
標準化などの  
データ整備が  
重要

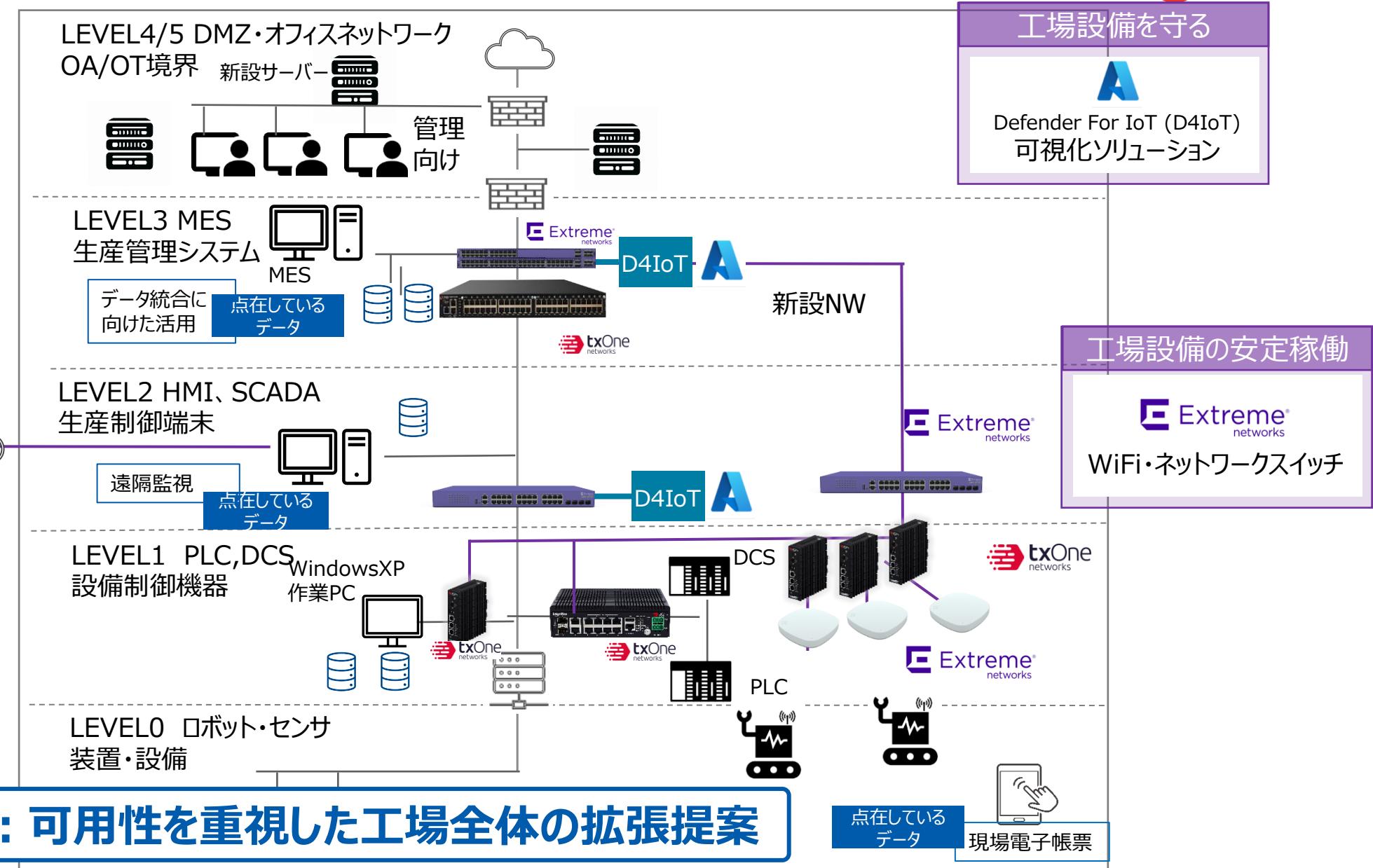
### 3. 自社データを活用した生成AIシステム

高度な活用：コア業務の革新

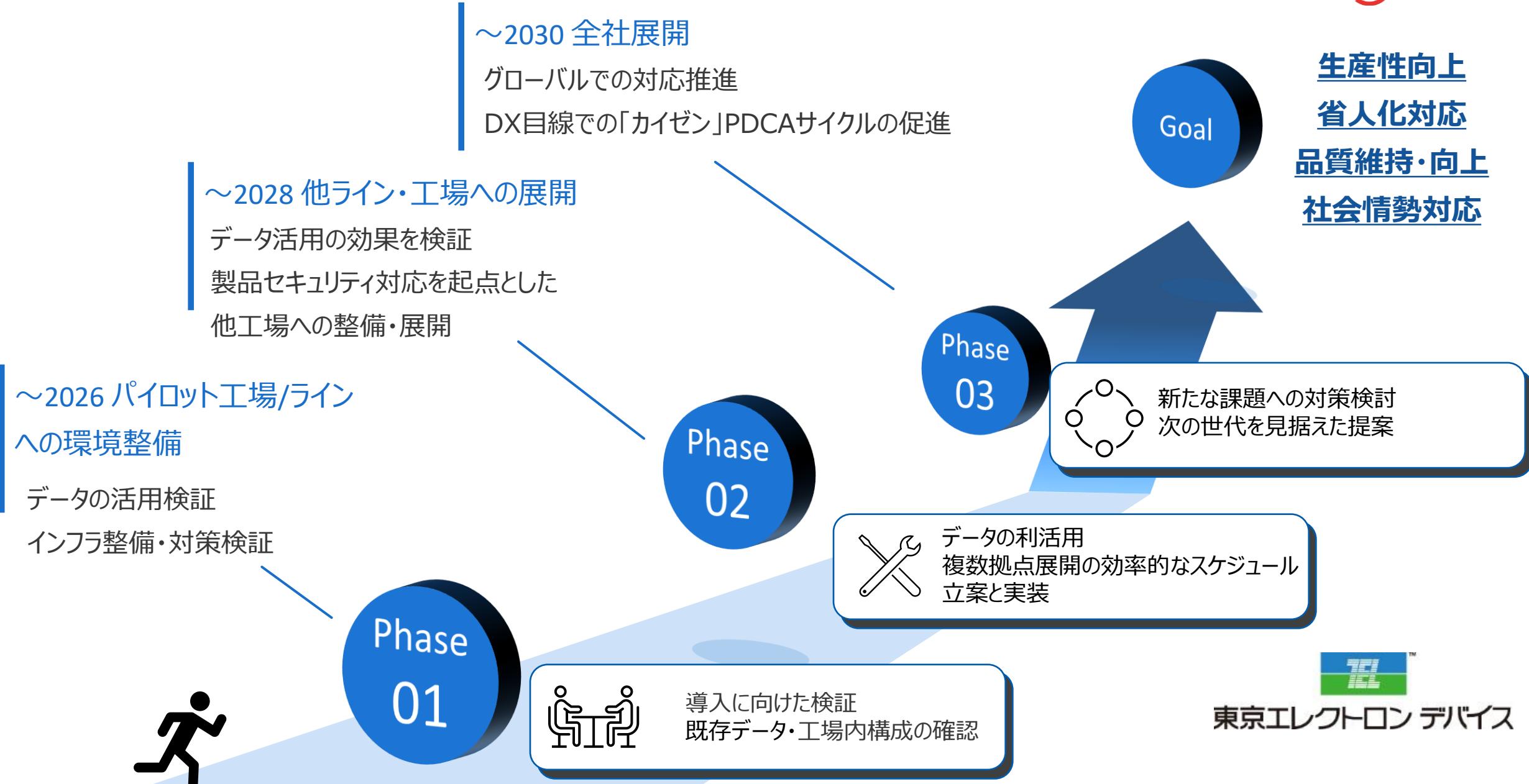
- ・新たな顧客体験提供
- ・製品・サービスの品質向上
- ・業務プロセスの自動化

# DXを推進するための環境整備ソリューション

Connect Beyond



# 当社を活用した製造業DX推進スケール



- ✓ IT～OTまで、製造現場を理解した製造業向けデータ活用ソリューションをご用意しています。
- ✓ レガシー機器から生成AI活用まで製造現場の可用性を重視し、スケーラブルな製造業DXを実現いたします。

製造現場のDX推進は、東京エレクトロンデバイスにお任せください